

## 新年度のスタートにあたって



本日4月1日から新しい会計年度(FY22)が始まります。昨年度は、売上、利益とも目標を達成し、皆で喜びを分かち合うことができました。これは全社員が一丸となって努力した

結果であり、また、お得意先や取引先から厚い信頼を戴いている証しでもあります。

さて、私たちを取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。コロナ禍も収まらず、原油高に端を発した各種資材や諸物価の高騰が目白押しです。その様な中であっても、私たちは企業人として常に勉強し、能力を高め、日々の実績を積み上げて行かねばなりません。さあ、今日から気持ちも新たに新年度目標に向かってスタートしましょう。

会長 金井 彬

## 電力需給ひっ迫警報

3月21日の夜、東京電力管内と東北電力管内に「電力需給ひっ迫警報」が初めて発令されました。東日本大地震と原発事故で、電力需給がひっ迫したことから2012年に導入された制度です。

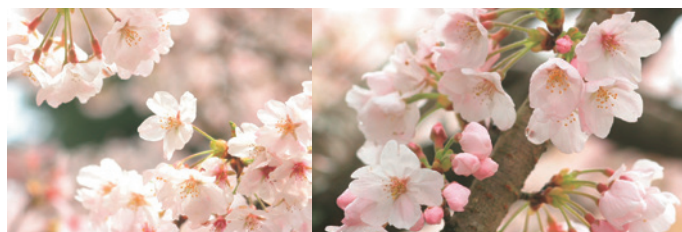
### 今回の電力需給ひっ迫の主な要因

- ① 地震による火力発電所の稼働停止
- ② 予想外の寒さ
- ③ 電力会社間をつなぐ送電網の整備の遅れ

化石燃料から脱炭素の流れのなかで、火力発電所などに対する投資は縮小しており、再生可能エネルギーが普及していく過程で浮き彫りになる問題もあるようです。今回は節電によりなんとか乗り切った訳ですが、エネルギーという点で様々な弱さを抱えている日本が、この先どのようにして持続可能な社会を築いていくのか、課題となりそうです。

## 桜の開花

今年も桜の季節となりました。東京では3月20日に開花しましたが、「年々開花が早まっているような気がするな...」と思ったことのある方も多いのではないでしょうか。実際、2000年以前は3月下旬～4月初旬頃に開花する年がほとんどだったのに対し、2000年以降は3月中旬～下旬頃に開花する年が増えています。その理由として地球温暖化の影響も考えられています。



桜の花は、夏に次の春に咲かせる花の芽ができます。秋に葉を落とし、冬の初めに花の芽はいったん眠りに入り(休眠)成長が止まります。そして真冬の寒さにさらされると、花の芽は目を覚まします。これを「休眠打破」といいます。その後暖かさによって成長し、春に開花します。真冬に一定期間寒さにさらされるということも、桜の開花には必要です。

多くの地域で今のところは、暖冬であっても休眠打破に必要な寒さはあり、桜の開花時期は、春先の暖かさの影響が大きいこととなります。しかし、今後さらに高温化が進むと休眠打破がうまくいかず、むしろ開花が遅れたり、満開までに時間がかかってしまい満開にならないといった現象が起こることも考えられます。

地球温暖化の影響が、身近なところに迫ってきているのを実感させられる一例です。

本社 環境委員会メンバー

委員長：下鳥治

委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子

曲師里奈 森智史



株式会社ジャパン・スリーブ  
本社：札幌市